

先駆けを！

夢の実現に向けて！

学校報 望洋

東海大学付属市原望洋高等学校
編集：メディアセンター

2019年7月19日 第138号

総括 2019年度 1学期

新校長田中昇先生を迎えて

2019年度1学期総括として、本号をお届けします。3月に297名の卒業生が巣立っていき、4月から、東海大学付属諏訪高等学校から新校長として田中昇先生を迎え、新年度がスタートしました。元号も「平成」から「令和」に変わり、新しい時代の幕開けとともに、新校長のもと、押し寄せてくる時代の変化の波に対応できる生徒の育成を目指して、日々教育活動に努めています。1学期終了にあたり、田中昇新校長に本校赴任の感想を聞きました。



田中 昇

「6番目の故郷」

望洋高校に赴任して三ヶ月。梅雨が明け、どこまでも高く、突き抜ける青い空を目にする頃には、校舎周辺の雑木林から蝉の声と暑さがやってくるだろう。

赴任の時、ワクワクして校舎に一步足を踏み入れたあの気持ちは今も一緒に続いている。「私は運が良いな。」と思う。出会う生徒、先生、そして、学校を支えてくれている全ての人達が良い人ばかりだ。始めの一步は不安があったが、学校にも地域にも少しずつ慣れてきた。

“人間到る処青山あり”と中学校の担任から言われたことがある。その時はあまり意識して考えてもみなかったことだが「どこで死んでも、骨を埋める場所ぐらいはあるから、故郷だけが墳墓の地ではない。だから大望を達するために郷里を出て大いに活躍しなさい。」の意味を深く感じる。私の人生の旅は、まだまだ終着ではない。希望を星につなげるまで続くだろう。長野で生まれ、神奈川、武蔵野、デンマーク、熊本を歩いた。千葉県が、市原が、そして、望洋高校がきっと6番目の故郷になるだろう。

第34回 入学式 4月5日（金）

～新入生 336名を迎えて～



4月5日(金)、2019年度 第34回 入学式を本校松前記念講堂にて挙行了しました。女子94名、男子242名、合わせて336名の新入生が新たに本校の門をくぐり、在校生、保護者、来賓、教職員からの祝福を受けました。



「文武両道」を目指して！

1年6組 佐藤千鶴

私達336名は、2019年4月5日に入学しました。厳粛な雰囲気の中、行われた式典は、高校生になったということを感じさせてくれました。私は、この高校に入ったことをとてもうれしく思っています。私の高校での目標は「文武両道」です。そのために私は建学の精神の「若き日に汝の体軀を養え」と「若き日に汝の知能を磨け」を心に刻み、学校生活を送っていきたいと思います。文武両道は難しいと思いますが、日々継続して頑張りたいと思います。そして、卒業する時には、自分の希望の進路に進み、この高校で3年間過ごせてよかったと思えるような3年間にしていきたいです。

望洋研修を実施（1年生）

4月17日(水)～19日(金)の日程で、2019年度望洋研修を実施しました。この研修は1年生を対象に、宿泊研修を通して本校生徒としての自覚を促し、学校生活のあり方を考えると共に、集団生活の中から規律を守ることや協調性の大切さを学ぶものです。また、スポーツ活動などを通じてクラスの相互理解と親睦を図り、リーダーシップ精神を養って、今後の高校生活に生かします。1年生にとっては入学後初めての大きな行事でした。研修を終えて3か月が経過した今では、市原望洋高校の生徒としての自覚も育ってきているようです。



合唱発表の様子

各クラス、学年として団結を！

1年2組 安藤 愛美

私達は望洋研修を通じて、団体としての自覚を持った行動や責任をとるといった、社会人になって必要なことを学びました。義務教育を終え、中学生から高校生へと変わった私達には、入学したばかりの頃までは緊張感がありましたが、学校生活を過ごしていくうちにだんだんと緩んでいってしまいました。しかし、望洋研修にてその緩んだ気持ちを改めることになり、仲間と共に楽しく過ごし、打ち解けあうことができたので、各クラス、さらには学年として団結できたと思います。東海大湘南キャンパスでは、本校を卒業した先輩の「高校の先生をどれだけ本気にさせるか」という言葉に感銘を受けました。これらのことを意識して、今後の高校生活を充実したものにさせていきたいと思います。

校外学習「鎌倉」を実施（2年生）



同じ4月17日(水)、2年生は校外学習「鎌倉」を実施しました。2年生も新年度を迎え、新たなクラスとなりました。そこでクラスの親睦と、来年3月予定の沖縄研修旅行での班行動の練習を兼ねて、鎌倉から長谷に点在する文化財や旧跡を訪ねて散策を行いました。当日はグループごとに事前に立てた計画に従って、古都鎌倉を巡り歩きました。

友人との絆を深めた鎌倉散策

2年4組 飯島優子・高橋 聖波

4月17日に、鎌倉へ校外学習に行きました。新クラスでの初めての行事で、不安と期待を胸に当日の朝を迎えました。班別行動では神社をめぐる歴史に触れ、普段見られない景色に新鮮味を感じました。困ったときには班の友人と言葉を交わし助け合い、日常生活では見ることできない友人の良い一面を見ることができ、友人についてさらに知ることができました。小町通りではさまざまな食を味わい、鎌倉の良さを身に染みて感じました。

今回の校外学習では様々な歴史に触れ、新クラスでの新しい友人との絆を深めることができ、とても良い経験となりました。校外学習の始まる前の不安は、これから一年間たくさんの時間を過ごす希望になりました。これから体育祭や研修旅行も控えていて、成長できる機会は多くあるので、先生方に指導をしていただきながら友人とお互いを高めあい、自分の可能性をさらに伸ばしていきたいと思います。

校外学習「江戸・東京」を実施（3年生）

4月17日(水)、3年生は校外学習「江戸・東京」を実施しました。新年度を迎え、新たなクラスとなった生徒たちがクラスの親睦を兼ねて、主に東京下町に散らばる文化財や名所を訪ねて散策を行いました。当日は江戸東京博物館前に集合。博物館内の常設展を見学した後、グループごとに事前に立てた計画に従って、東京の町を巡り歩きました。



私たち、3年生の見学場所は江戸東京博物館です。私たちは広い常設展示室を見学しながら、江戸時代や明治時代の昔の暮らしぶりに触れたり、戦時中の貴重な資料に興味深そうに見入るなど、江戸・東京の歴史をそれぞれ調べ学習することができ、とてもよい勉強になりました。あちらこちらに設けられた体験コーナーでは、展示物で実体験をしながら感想を述べ合ったり意見交換したりするなど、楽しみながら積極的に学ぶという様子が見られました。班別行動では、東京ならではの文化・環境・観光・オリンピックの雰囲気などを味わいながら、クラスメイトと共に充実した時間を過ごせました。

いのちの大切さを学ぶ講演会を開催（1年生）



4月24日(水)、生徒指導講話の一環として、ジェントルハートプロジェクトの小森美登里氏を迎え、講演会「命の大切さを学ぶ～やさしい心が一番大切だよ～」を開催しました。この講演を通して、人権の問題を捉え、人の命について考えました。

いのちの大切さ

1年8組 工藤 耀桜

「優しい心が一番大切だよ。」という言葉だけが何度も反響しているように聞こえた。この言葉には沢山の想いが詰まっていて、唯一の声となって残った一言だと感じた。世界中の人が優しい心を持つてゐるのなら、「類は友を呼ぶ」ということばにあるように、優しい心を持つ人が徐々に増えると思う。

以前の私は優しい心を持つことができず、多くの人を傷つけてしまった。この講話を聞いて、過去の自分に目を向けて、今後の生活で同じ過ちを起こさないようにしたいと強く思った。私が変われば周りも変わると信じて、優しい心を持つ一人になりたいと思う。また、小森さんが言うように、「スポンジが水を吸収するように友人の話を聞いてあげられる」よう、友人の悩みを真摯にしっかり受けとめられるようになりたいと思う。

第34回 体育祭を開催

5月31日(金)、第34回 体育祭を開催しました。今年度は、人工芝のグラウンドになって初めての体育祭になりました。各クラスの入場行進の後、開会式、準備運動、1年生によるむかでレースを皮切りに各競技は順調に進み、毎年の体育祭で一番盛り上がるクラス対抗リレーを終えて、午前の部は終了しました。午後の部は全学年男女による二人三脚リレー、1年生による Jumping Beans (大縄跳び)、2年生による増脚リレー、3年生による綱引きと進み、クラス選抜リレーを最後に、すべての競技を無事終えました。3年生にとっては高校生活最後の体育祭。どの競技も熱戦を繰り広げました。



1学年

1年7組 宮崎日向子・吉水智哉

1年生にとって、初めての体育祭でした。今回、人工芝になって初めの体育祭ということもあり、とても盛り上がった体育祭になりました。4月に入学して、2ヶ月弱しか一緒に過ごしていない級友とも、体育祭を通じてお互いを理解し合い、仲良くなることができました。中学校の体育祭とは違い、自分で自分の仕事をしたり行動をする機会が多くあり、常に周りを意識して過ごすことができました。

体育の授業での練習では意見が合わなかったり、行動が遅かったりでなかなかうまくいきませんでした。しかし、本番では、クラス全員一致団結してリレーをしたり、各競技全力で取り組みました。今回の体育祭を通じて、仲間大切さや、協力して何かに取り組むことの楽しさを実感しました。それらを、今後の学校生活に活かしていけるようにしたいです。

2 学年

2 年 6 組 桑山陽向・子安美実

体育祭お疲れさまでした。グラウンドも人工芝になり、新しい環境で体育祭を行うことができました。体育祭を通してお互いを知ることでもできました。練習では行進なども全然揃わず、移動も遅く先生に注意されていました。各競技も意見が割れてしまい、お互いを攻めてしまう部分も見えました。本番が近づくにつれ、みんなで声を掛け合い意識が変わりました。当日は、緊張してしまいましたが、みんなの気合いで一気に緊張が解けました。喜ぶ姿、応援する姿、励まし合う姿、いろいろな一面が見られて、どの種目も全員で一体となることができてよかったです。体育祭で学んだことを生かして、今後の学校生活を充実させられるようみんなで力を合わせたいです。

3 学年

3 年 5 組 横山智咲

私たち 3 年 5 組は、高校生活最後の体育祭で優勝することができました。結果発表の瞬間に喜びが込みこみあげてきて、このクラスでよかったと実感しました。

体育の授業ではなかなかまとまらず、雲行きが怪しい時もありましたが、当日は「負けたくない」というみんなの強い気持ちが団結力となり、良い結果に繋がったと思います。また、たくさんアドバイスをくれて、いつでも 1 番近くで応援してくださった中山先生に感謝したいです。これからは、体育祭で深まった絆を授業や行事に活かして、元気で明るくけじめのあるクラスを目指していきたいと思います。

サマーコンサート開催 (2 年生)



6 月 23 日 (日)、本校松前記念講堂で吹奏楽部が第 16 回サマーコンサートを開催しました。たくさんの方々にご来場いただき、盛り上がったコンサートになりました。

サマーコンサートを終えて

吹奏楽部部长 3 年 3 組 宮澤愛美

6 月 23 日 (日) に第 16 回サマーコンサートが開催されました。私達 3 年生の代が今年 1 月から始まり、早くも 6 か月が経ちました。部活動を運営していく中で、思い通りに行かず、失敗も多くありましたが、共に活動する仲間の支えや励ましにより無事に終えることができました。改めて仲間の大切さを実感しています。私達は本年度の目標に「極」～No pain, No glory～を掲げました。挨拶や礼儀など人として当たり前のことを完璧にし、個々の音を極め、聞いて下さる全ての方々の方に響く演奏がしたいという思いをこめて掲げました。今回の演奏会を成功に導いて下さった先生方、保護者の方々、OBOG の先輩方、そしてご来場頂きました全ての皆様に感謝申し上げます。

芸術鑑賞会を実施 (1 年生)



6 月 13 日 (木)、1 年生は国立劇場で芸術鑑賞会 (歌舞伎鑑賞教室) を実施しました。中村虎之介による「解説 歌舞伎のみかた」に続いて「神霊矢口渡 頼兵衛住家の場」という演目を鑑賞しました。生徒からは「迫力があつた」「みんなが男の俳優さんとは思えなかった」「初めて見たけど楽しかった」などの感想が聞かれました。

歌舞伎鑑賞教室に参加して

1 年 3 組 佐藤美緒

私たち 1 年生は、6 月 13 日に国立劇場で「神霊矢口渡」という作品を鑑賞しました。ほとんどの人が初めての歌舞伎にわくわくしていました。そんな芸術鑑賞会で感じたことは、約 400 年以上歌舞伎が受け継がれているという歴史の重みです。この伝統のすばらしさに触れることで、望洋高校の伝統を、改めて考える機会となりました。今回の芸術鑑賞会では、歌舞伎の歴史のことだけではなく、それまでの過程など細かい部分も学ぶことができました。これからまだ、色々な行事が残っているので、たくさん学んで成長していきたいです。